

石鍋真澄教授 略歴・業績

略 歴

- 一九六八年三月 埼玉県立浦和高校卒業
- 一九六九年四月 東北大学文学部入学
- 一九七三年三月 東北大学文学部哲学科（美学・西洋美術史専攻）卒業
- 一九七三年四月 東北大学文学研究科入学
- 一九七五年三月 東北大学文学研究科修士課程修了（美術史学専攻）
- 一九七五年四月 東北大学文学研究科博士課程進学
- 一九七五年一月 イタリア政府給費留学生としてフィレンツェ大学文学・哲学部（美術史研究所）留学（一九七九年二月まで）
- 一九七九年四月 成城短期大学専任講師
- 一九八二年四月 成城短期大学助教授

海外研修にてローマで研究（一九八三年三月まで）

一九八八年四月 海外研修にてローマで研究（一九八九年四月まで）

一九九〇年四月 成城短期大学教授

一九九四年四月 成城大学短期大学教授（名称変更による）

二〇〇一年四月 成城大学短期大学部長・成城学園理事（二〇〇五年三月まで）

二〇〇五年四月 成城大学文芸学部・文学研究科教授

二〇一〇年四月 海外研修にてフィレンツェで研究（二〇一一年三月まで）

二〇一三年四月 成城大学大学院文学研究科長（二〇一五年三月まで）

二〇一六年五月 海外研修にてローマで研究（二〇一七年三月まで）

二〇二〇年三月 成城大学退職

和光大学（一九八五―八七年）女子美術大学（一九八六―八八年）山形大学（一九八七―八八年度、一九九六―九七年）学習院女子短期大学（一九九〇―九二年）実践女子大学（一九九〇―九三年、二〇〇四―〇六年）共立女子大学（一九九三―九五五年）日本女子大学（一九九五―九六年）岩手大学（一九九六―九七年）東京外国語大学（一九九七―九八年）日本女子大学大学院（一九九八―二〇〇一年）上智大学（二〇〇〇―二〇〇一年）東北大学・東北大学大学院（二〇〇一―〇二年）などで非常勤講師を務める

学位

博士(文学) 二〇〇六年三月 東北大学

賞罰

一九八八年度(第一二回) マルコ・ポーロ賞受賞(受賞対象作品『聖母の都市シエナ イタリアの都市国家と美術』)
一九九一年度(第一五回) マルコ・ポーロ賞共同受賞(受賞対象作品『フィレンツェ・ルネサンス』全六卷)

業績

主要著書

- 『ベルニーニ バロック美術の巨星』吉川弘文館 一九八五年(歴史文化セレクション 二〇〇九年)
『聖母の都市シエナ 中世イタリアの都市国家と美術』吉川弘文館 一九八八年
『サン・ピエトロが立つかぎり 私のローマ案内』吉川弘文館 一九九一年
『ありがとうジョット イタリア美術への旅』吉川弘文館 一九九四年(歴史文化セレクション 二〇一〇年)
『サン・ピエトロ大聖堂』吉川弘文館 二〇〇〇年
『ピエロ・デッラ・フランチェスカ』平凡社 二〇〇五年
『フィレンツェの世紀 ルネサンスのパトロンと美術家の物語』平凡社 二〇一三年
『教皇たちのローマ ルネサンスとバロックの美術と社会』平凡社 二〇二〇年

その他の著書・共著

- 『新西洋美術史』 西村書店（千足伸行監修）一九九九年
- 『アッシジの聖堂壁画よ、よみがえれ』 小学館（アート・コレクション）二〇〇〇年
- 『ヴァチカン物語』 新潮社（とんぼの本）二〇一一年
- 『誰も知らないラファエッロ』 新潮社（とんぼの本）二〇一三年
- 『カラヴァッジョ伝記集』 平凡社（平凡社ライブラリー）二〇一六年
- 『ルネサンス美術館』 小学館（監修・執筆）二〇〇八年
- 『ラファエッロ』 宝島社 二〇一三年
- 『西洋美術史を学ぶ』 ということ』 三元社（高階秀爾・千足伸行と共著・喜多崎親編）二〇一四年
- 「エクラン 世界の美術」（主婦の友社）・「世界美術大全集」（小学館）・「NHK日曜美術館 名画への旅」（講談社）・「フィレンツェ・ルネサンス」（日本放送出版協会）・「週刊朝日百科 世界一〇〇都市」（朝日新聞東京本社）などの美術全集の解説等多数。

翻訳書

- カラー版世界の巨匠『ヴァン・ゴッホ』 評論社（共訳）一九八〇年
- ジヨルジョ・ヴァザリー『ルネサンス彫刻家建築家列伝』 白水社（森田義之監訳）一九八九年・（新装版）二〇〇九年

フランチェスコ・パパーヴァ 『ヴァチカン』 ヴァチカン出版局・ほるぶ教育研究所（共訳）一九九三年
『ヴァチカン・ガイド』 美術館と市国』 ヴァチカン出版局・ミュージアム図書（監修）二〇〇六年
ファブリツィオ・マンチネッリ 『システイナ礼拝堂』 ヴァチカン出版局・ほるぶ教育研究所（共訳）一九九三年
フランチェスカ・ロメイ 『彫刻の世界』 講談社 絵とき美術館（監訳）一九九六年
ウエンディ・ベケット 『シスター・ウエンディの名画物語』 講談社（千足伸行監訳）一九九六年
オラーツィオ・ペトロジツロ 『ヴァチカン市国』 ヴァチカン出版局・ミュージアム図書（共訳）一九九九年
デズモンド・スアード 『カラヴァッジョ 灼熱の生涯』 白水社（共訳）二〇〇〇年・（新装版）二〇一〇年
グイド・ヴィスコンティ 『ビンバ・ランドマン絵』 『天才レオナルド・ダ・ヴィンチとジャコモ少年』 西村書店（共訳）二〇〇〇年
ジョイア・モーリ 『ウフィツィ美術館の名画』 日本経済新聞社（監訳）二〇〇一年
アンドレア・ポメツラ 『ヴァチカン美術館』 『デアゴステイーニ・ジャパン（共訳）二〇一五年
マルコ・カルミナーティ 『ピエロ・デッラ・フランチェスカ モンテフェルトロ祭壇画』 西村書店（共訳）名画の秘密シリーズ 二〇一六年

展覧会関係（展覧会監修・カタログ監修・カタログ執筆）

イタリア大統領来日記念『ウフィツィ美術館秘蔵 イタリア名作デッサン展』 ブリヂストン美術館 一九八二年
『ヴァチカン美術館展 古代における人体表現』 豊田市美術館 一九九六年
『ウフィツィ美術館所蔵 一七世紀イタリア素描展』 ブリヂストン美術館・岐阜県立美術館 一九八七年

『フィレンツェ・ルネサンス 芸術と修復展』京都国立近代美術館・世田谷美術館・名古屋美術館 一九九一年
『オックスフォード大学クライスト・チャーチ美術館所蔵 フィレンツェ・ルネサンス素描展』東京ステーション
ギャラリー・栃木県立美術館・米子市美術館・岐阜県立美術館 一九九四年

『華麗なる一八世紀イタリア ヴェネツィア絵画展』上野の森美術館・京都市美術館 二〇〇一年

『イタリア美術とナポレオン展』札幌芸術の森美術館・愛知県立美術館・いわき市美術館・松坂屋美術館（名古屋）・北九州市立美術館・京都文化博物館・鹿児島市立美術館・大丸ミュージアム（東京）二〇〇八―二〇〇九年
慶長遣欧使節出帆四〇〇年・ユネスコ世界記憶遺産登録記念『伊達政宗の夢 慶長遣欧使節と南蛮文化』仙台市
博物館 二〇一三年

日伊国交樹立一五〇周年記念『カラヴァッジョ展』国立西洋美術館 二〇一六年

日伊国交樹立一五〇周年記念『メデイチ家の至宝 ルネサンスのジュエリーと名画』東京都庭園美術館 二〇一
六年

主要論文

ピエロ・デッラ・フランチェスカの《キリストのむち打ち》について（『文化』三九卷一・二号 一九七五年）
ジヨット神話の形成（上）（下）（『美學』一一三・一一四 一九七八年）

シモーネ・マルティニーの『マエスタ』と幼児キリストのタイプの流れについて（『美學』一一七 一九七九年）

La Maestà di Simone Martini e la diffusione del Bambino stante e benedicente nell'arte italiana, 《Antichità viva》,
Fascicolo N.1, 1980.

- ピエロ・デッラ・フランチェスカの《ウルビーノ公フエデリーコ・ダ・モンテフェルトロ夫妻の肖像》の制作年代について（『成城短期大学紀要』一一号 一九八〇年）
- ロレンツォ・ギベルティの『コンメンタリ』第二書（『成城短期大学紀要』一二号 一九八一年）
- ピエロ・デッラ・フランチェスカの『遠近法論』（『成城短期大学紀要』一三号 一九八二年）
- ピエロ・デッラ・フランチェスカ Geonetra e pittor（『成城短期大学紀要』一四号 一九八三年）
- 中世シエナの都市建設（『成城短期大学紀要』一五号 一九八四年）
- カラヴァッジオの伝記資料（『成城短期大学紀要』一七号 一九八六年）
- ブルネッレスキとジョット サンタ・マリア・ノヴェッラ聖堂の《磔刑像》に関する一考察（『成城短期大学紀要』一八号 一九八七年）
- マネッティの『ブルネッレスキ伝』（『成城短期大学紀要』一九号 一九八八年）
- ピエロ・デッラ・フランチェスカの《ブレラの祭壇画》に関する一考察（『成城短期大学紀要』二〇号 一九八九年）
- カラヴァッジオ犯科帳（『成城短期大学紀要』二四号 一九九三年）
- Jodokyo Art of the Late Heian Period and Baroque Art of Rome: An Attempt at Comparative History of Art（平安後期の浄土教美術とローマ・バロック美術…比較美術史学の試み）（英文と和文の論文『美術史における日本と西洋 Japan and Europe in Art History』中央公論美術出版 一九九五年）
- バリオーネ裁判とカラヴァッジオ（『成城短期大学紀要』二八号 一九九七年）
- カタスト史料と美術家 ルネサンス美術家の実生活（『成城短期大学紀要』二九号 一九九八年）

- ヘンリー・ムーアのジョヴァンニ・ピサーノ論（『成城大学短期大学部紀要』三〇号 一九九九年）
- 絵画に関するヴィンチェンツォ・ジュステイニアーニの書簡（『成城大学短期大学部紀要』三二号 一九九九年）
- 研究ノート ヴェドゥータ（都市景観画）について（『成城大学短期大学部紀要』三二号 二〇〇〇年）
- 芸術家像の形成 ルネサンスとバロックの美術家たち（『成城大学短期大学部紀要』三四号 二〇〇一年）
- フィレンツェのサン・ミニアート・アル・モンテ聖堂と洗礼堂（『成城大学短期大学部紀要』三五号 二〇〇三年）
- フィレンツェ、都市の成り立ち（『成城大学短期大学部紀要』三七号 二〇〇五年）
- ピエロ・デッラ・フランチェスカの祭壇画 伝統と創意（『成城美学美術史』一五号 二〇〇八年）
- ヴェネツィア、神の手で造られた都市（『成城文藝』二〇六号 二〇〇八年）
- 感情、教育、美術 美術史家の一考察（『現代のエスプリ』四九四号 二〇〇八年）
- フィレンツェ・ルネサンスの素描（『美学美術史論集』八号 二〇〇九年）
- 支倉常長の肖像に関する一考察 グローカル化にともなう文化移転とその中核となる美術作品の一例として（『グローカル文化研究』二〇一〇年）
- ミケランジェロの《ダヴィデ》の設置場所（『美学美術史論集』一九号 二〇一〇年）
- 支倉常長の肖像画（『仙台市史特別編八 慶長遣欧使節』仙台市 二〇一〇年）
- 一七世紀美術におけるローマの役割（『美学美術史論集』二〇 二〇一三年）
- カラヴァッジョの二つの伝記 コスタンツァ・ボナレッリの肖像をめぐって（『成城美学美術史』二二二号 二〇一六年）